

○運営体制

館長（非常勤特別職）

主な役割

- ・ 児童館の管理や運営
- ・ 児童の健全育成のための事業の実施
- ・ 団体等の専用利用の承認等

児童館指導員（非常勤一般職）2人

主な役割

- ・ 児童の個別的又は集団的な指導
- ・ 児童の健全育成事業の計画や実施

児童館補助員（非常勤一般職）4人

主な役割

- ・ 児童の健康管理、安全確保
- ・ 遊びや活動状況の把握

○年間利用者数（平成29年度実績）

- ・ 13,247人が利用（うち、団体等の専用利用は3,623人）

○施設の維持管理費等（平成29年度実績） 千円単位は四捨五入。

- ・ 人件費 472万円
- ・ 維持管理経費 510万円

建物リース料、消防用設備点検、病虫害等駆除、廃棄物処理、光熱水費などの経費

- ・ 事業運営委託 32万円

放課後子ども教室事業分を含む。

	図書館 視聴覚ライブラリー ○市民の「知の拠点」として、市民や地域に役立つ図書館。 ○視聴覚教育の振興を図る。	公民館 ○学習機会の提供、人と人がつながるための地域の拠点。	青少年学習センター ○青少年に交流と活動の場を提供し、青少年の健全な育成を図る。	国際交流ラウンジ ○外国人支援、また外国人を支援する団体の活動の場とする。	あさひ児童館 ○遊びを通して、児童の健康を増進し、豊かな情緒を育むために設置。
乳幼児 0～6歳程度。	【本に親しむ事業】 ・わらべうた会 ・おはなし会 など	【自主企画提案事業】 (親子対象)			【放課後子ども教室事業】 ・小中学生講座
青少年 小中学生及び高校生程度。	【学校支援・連携事業】 ・YA(ヤングアダルト)サービス など	【自主企画提案事業】 (青少年対象) 【青少年事業】 ・ゆめ教室(社会見学、工作教室など) ・子どもまつり	【体験学習】 ・プチロボ相模原大会、サイエンスフェスティバル ・中高生体感教室 【出会い・交流事業】 ・親子ふれあいの広場 ・あそびの学校	【外国人支援】 通訳・相談・防災・日本語教室 など	
一般	【図書館と公民館の連携事業】 ・歴史講座 「小田原北条氏と小田原城のすべて」 ・子育て支援事業 「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」 ・多文化サービス ・ボランティア養成 ・法律講座 ・シネマサロン など	【自主企画提案事業】 (一般対象) ・女性学級、高齢者学級(一般対象)	【自主的・主体的な事業】 ・yフェスティバル	【国際交流】 イベント・国際理解授業・文化交流 など	地域のサークル、自治会等団体の専用利用
主な利用対象者	全年齢	全年齢	青少年 おおむね6歳から30歳	全年齢	主に児童

公民館まつり
全年齢対象



【遊戯室】

遊具などで仲良く遊んでいます。特にソフトブロック（写真）や卓球が人気です。

【図書室】

マンガや児童書をはじめ、DVDを見ることもできます。



Point

利用者は幼児から高校生まで幅広いが、最も多いのは小学生。図書室の利用も人気があるが、図書の種類や量が不足気味で、貸し出しはしていない。



【平成26年3月から供用開始】
綺麗で、バリアフリー化されていますが、敷地の関係から他の児童館のような庭がありません。令和6年2月までの10年間のリース契約をしています。



庭のある児童館の例
(弥栄児童館)

Point

リース形式で整備した比較的新しい施設。市内の児童館の中では敷地面積、延べ床面積ともに最も小さく、他の児童館のような庭がない。